

放射線量等分布マップにおける 土壌狭域内分布の確認

H23. 6. 27

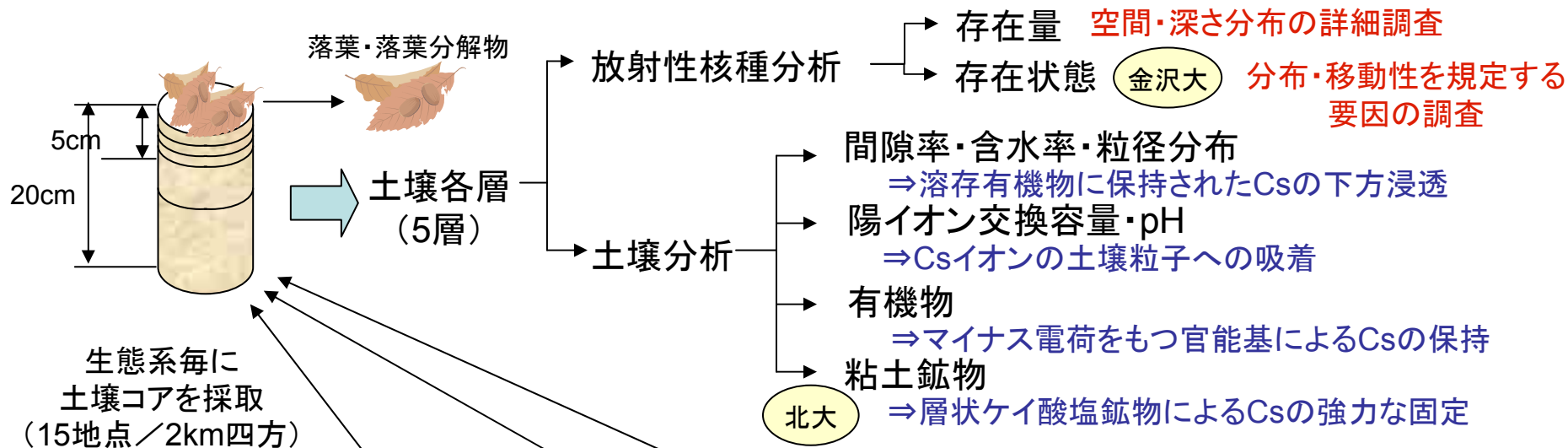


(独)日本原子力研究開発機構
原子力基礎工学研究部門

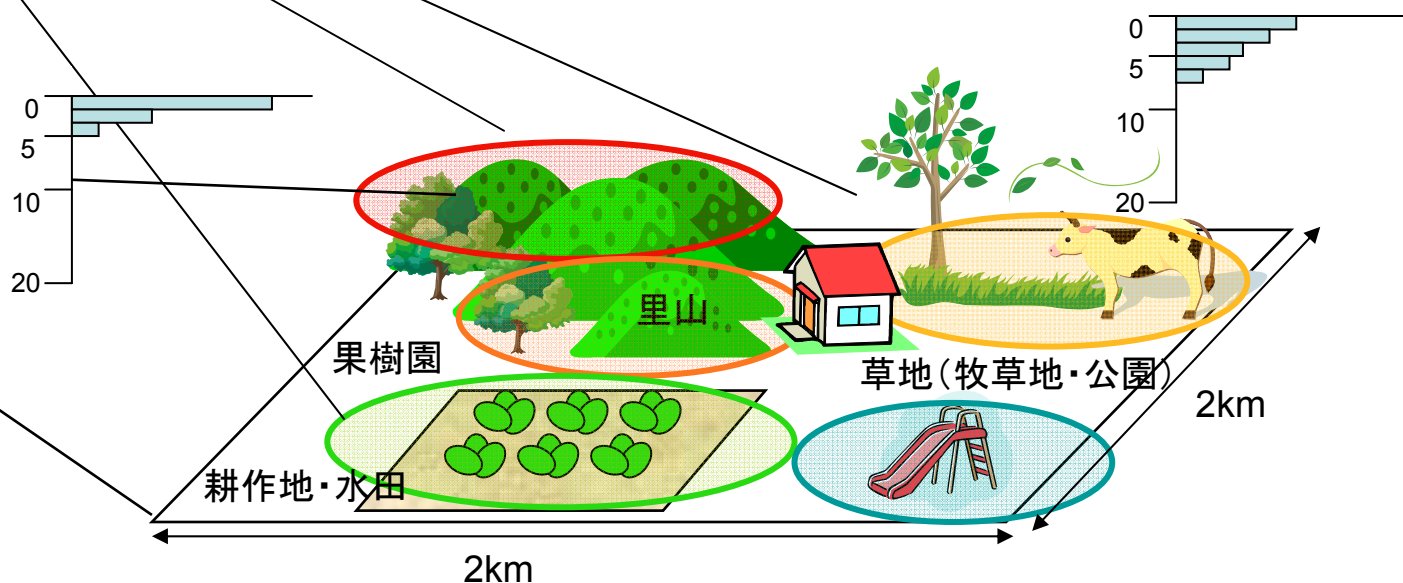
放射線量等分布マップにおける土壤狭域内分布の確認(1/2)



- ・ 土壤汚染は土壤・植生の特性により変動を受ける可能性(チェルノブイリ等の既往研究)
- ・ 2km四方メッシュ内には、それらの特性を規定し、人間活動に密接に係わりのある様々な生態系が混在
- 広域マップ調査で取得される2km四方当たり1点のデータが、どのような要因で変動しうるのかを提示



土壤マップ: 1地点/2km四方



放射線量等分布マップにおける土壤狭域内分布の確認(2/2)



スケジュール

第1回土壤採取(梅雨前)

- ・ 土壤中放射性核種の深さ分布測定
- ・ 放射性核種の存在状態調査
- ・ 土壤特性分析

第2回土壤採取(梅雨後:8月初め)

- ・ 土壤中放射性核種の深さ分布測定
- 放射性核種の蓄積状況の変化と土壤特性の関連を明らかにする

進捗状況

- ・ 調査対象の2kmメッシュを福島市内に決定(人間活動に密接に関わる様々な生態系が混在する場所)
- ・ 6月18-20日に右図の地点で土壤試料採取(梅雨入りは6/21)
- ・ 現在、土壤試料を前処理中

試料採取地点



緯度 37.72184918 経度 140.34519196

- 畑地(3地点)・水田(1)・果樹園(2)
- 牧草地(3)・公園草地(1)
- 里山(2)・自然林(3)